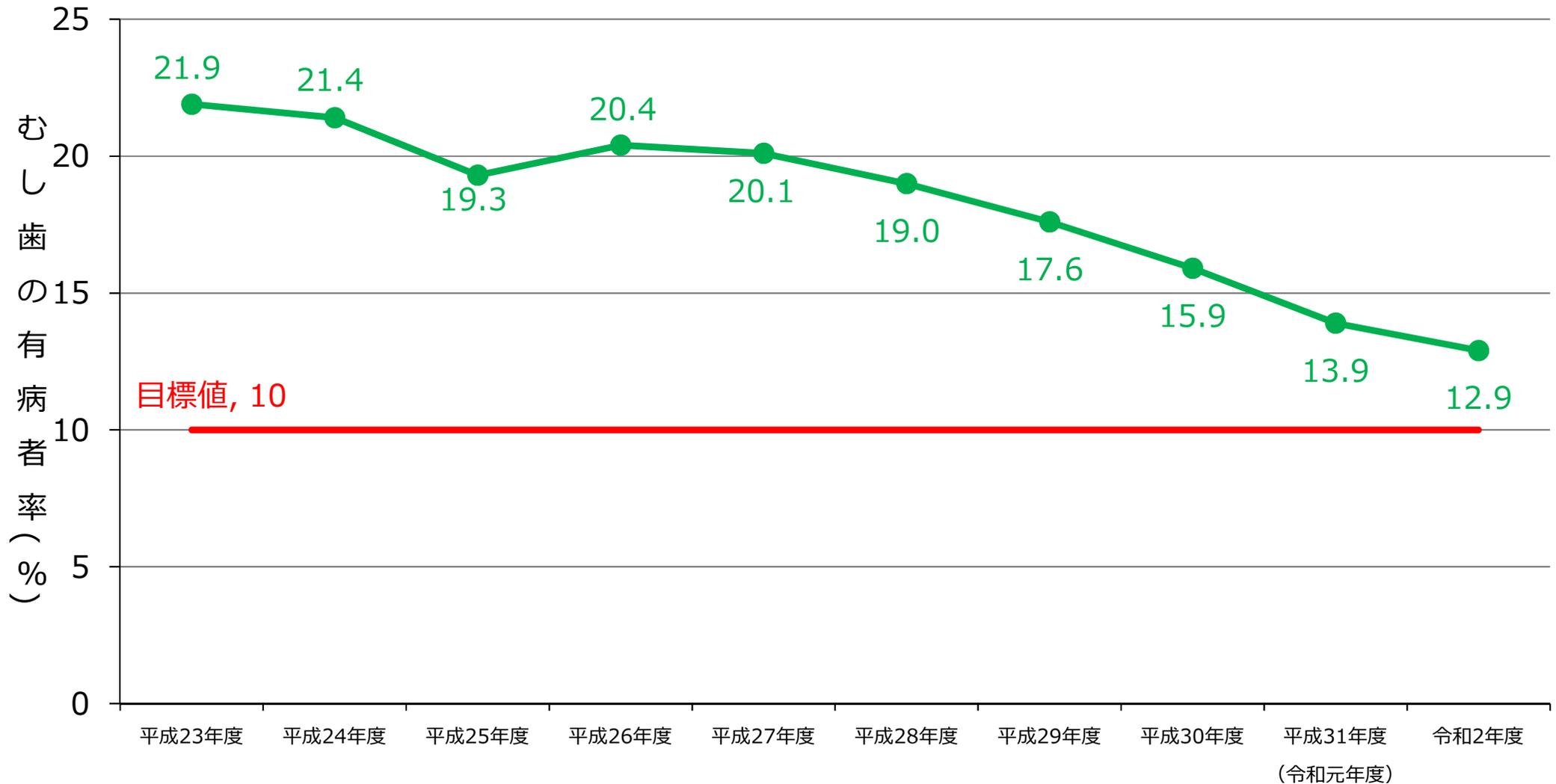


岡山市の歯科保健の現状

三歳児のむし歯（未処置・治療済み・抜歯の合計）の有病者率の推移

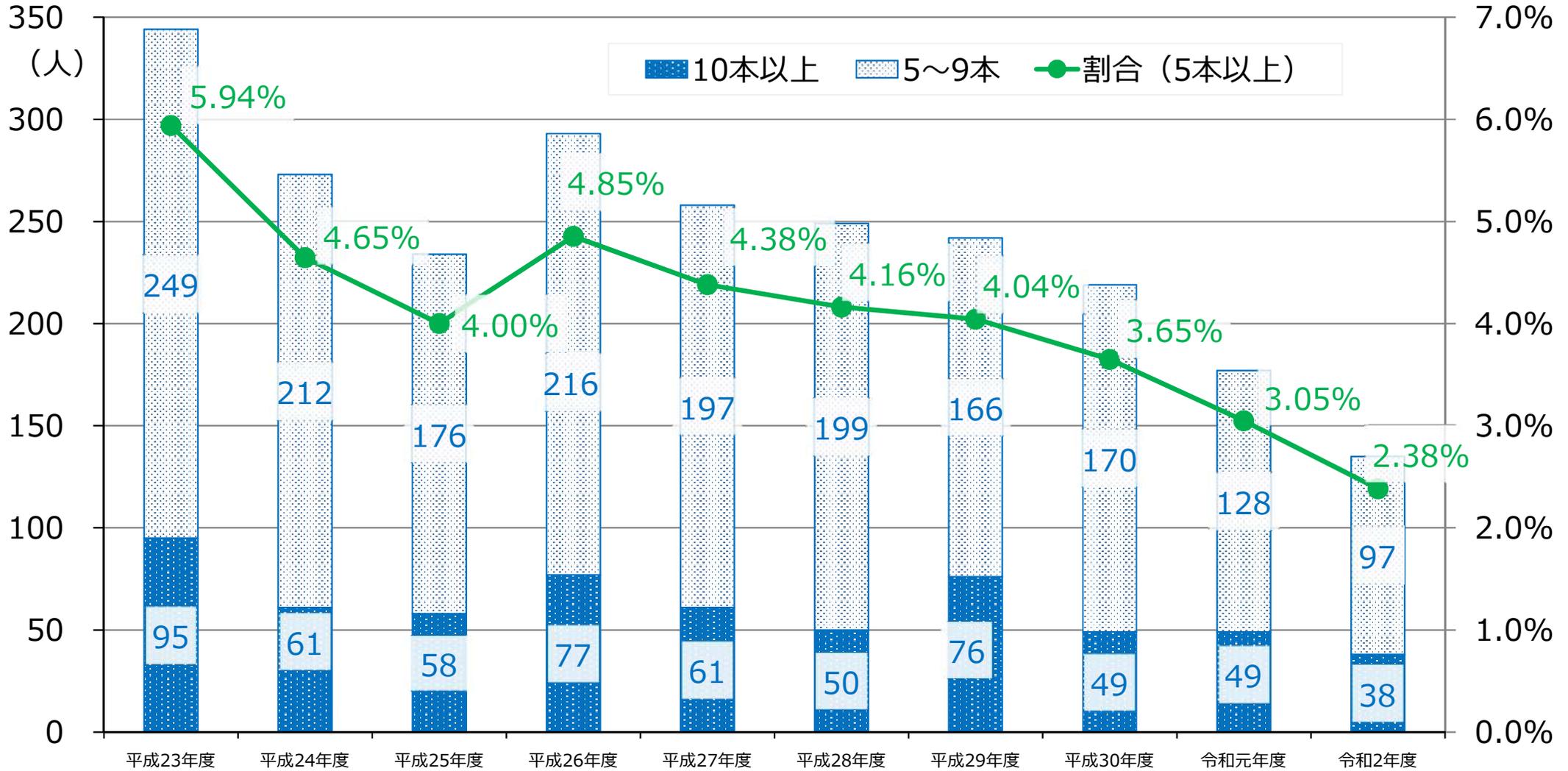
むし歯（処置済みの歯も含む）のある三歳児の割合は、減少し続けている。



受診者数	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度
	5,792人	5,877人	5,849人	6,036人	5,889人	5,983人	5,985人	6,002人	5,807人	5,664人

5本以上の乳歯のむし歯（未処置・治療済み・抜歯の合計）をもつ 三歳児の割合の推移

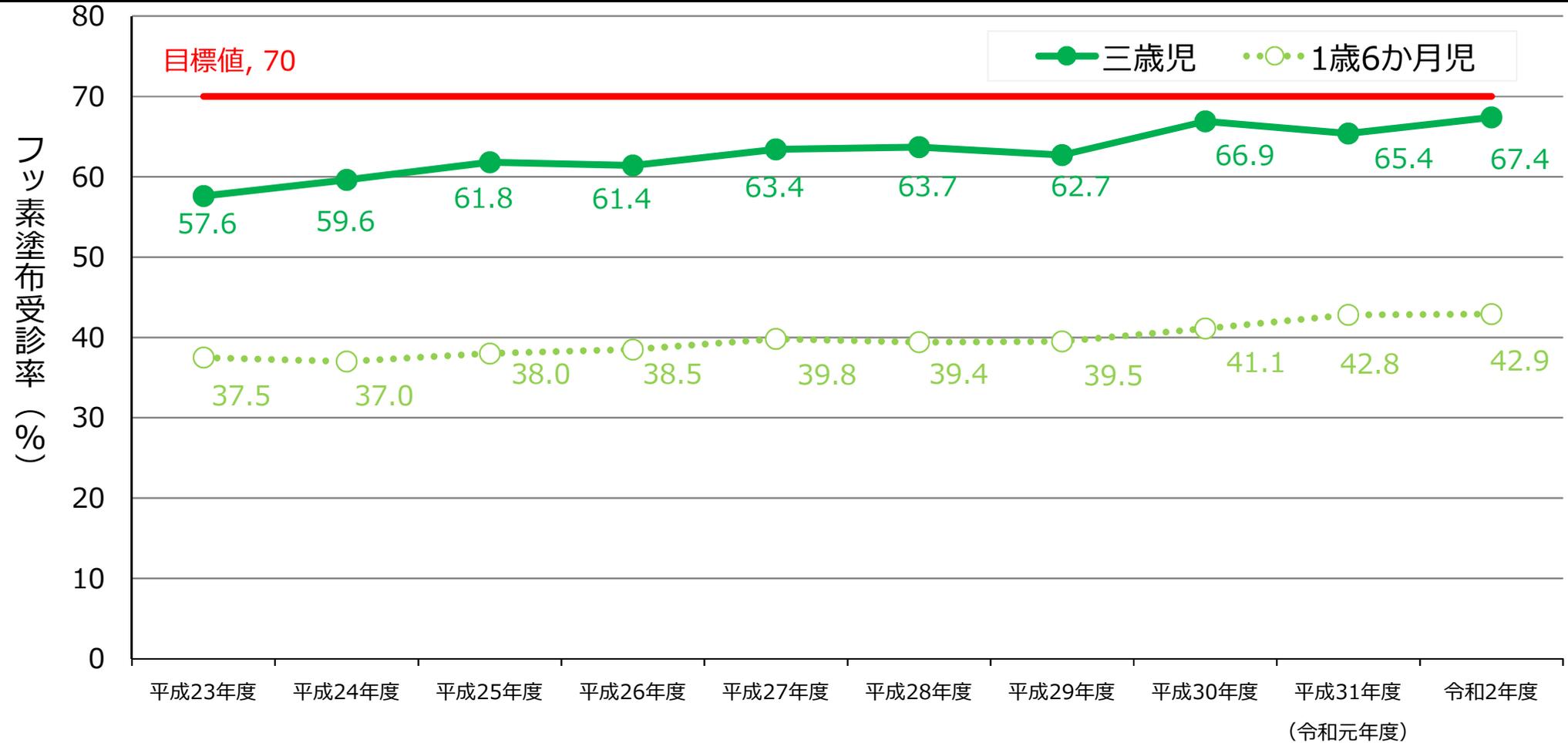
乳歯が5本以上むし歯になっている幼児の割合は、減少傾向にあるが、10本以上むし歯がある幼児は、一定数、存在する。



受診者数	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	5,792人	5,877人	5,849人	6,036人	5,889人	5,983人	5,985人	6,002人	5,807人	5,664人

フッ素塗布を受けている幼児の割合の推移

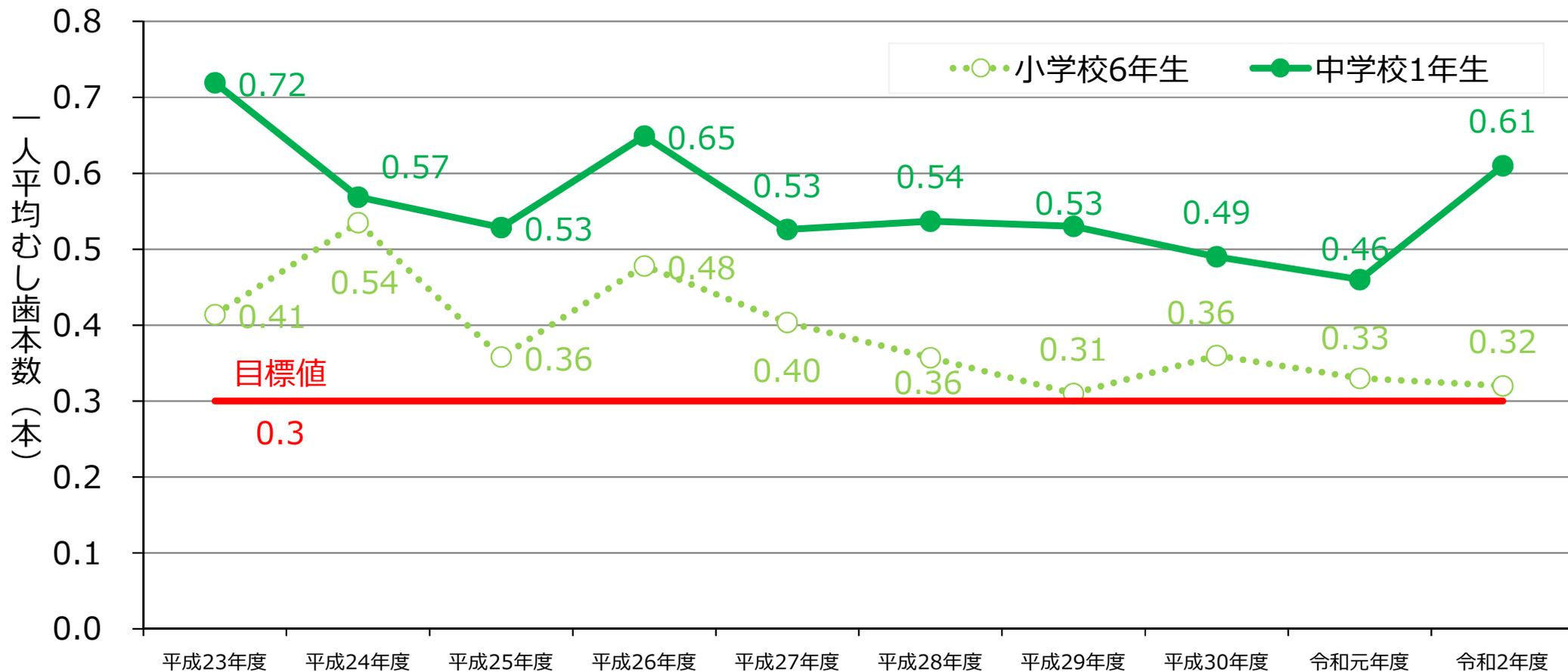
1歳6か月児健康診査では「フッ素塗布を受けたことがありますか」、三歳児健康診査では「定期的にフッ素塗布を受けていますか」の問いに、「はい」と答えた児の割合を示している。フッ素塗布の受診率は、増加している。



受診者数	年度										
	三歳児	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
三歳児	5,792人	5,877人	5,849人	6,036人	5,889人	5,983人	5,985人	6,002人	5,807人	5,665人	
1歳6か月児	6,054人	6,166人	5,973人	6,104人	6,061人	6,211人	6,006人	5,734人	5,750人	5,473人	

永久歯の一人平均むし歯数（未処置・治療済み・抜歯の合計）の推移

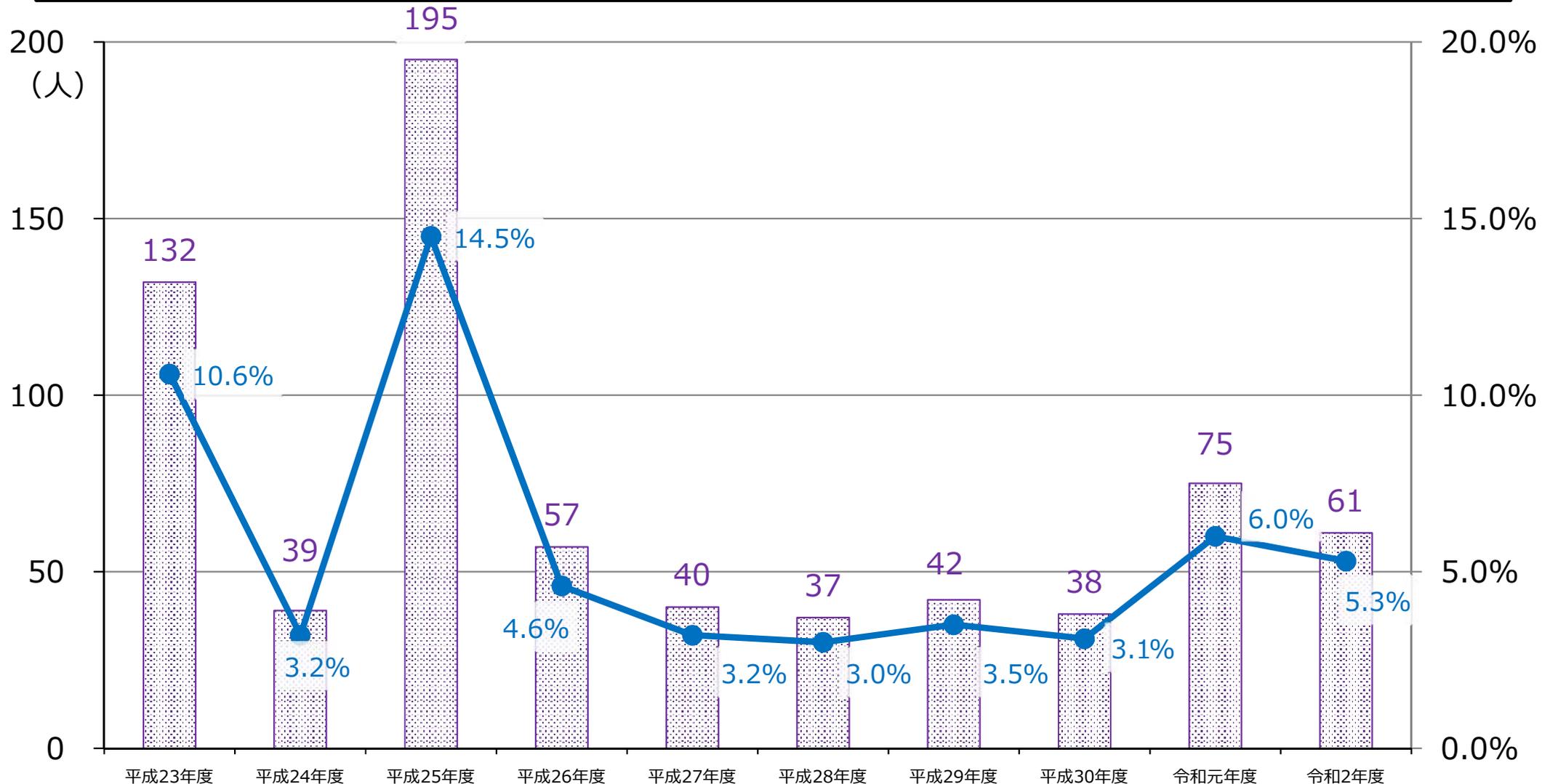
各学校1クラスずつの集計である。永久歯のむし歯数は、ほぼ横ばいで、大きな変化はない。定期健康診断は、例年1学期に行われるが、令和2年度は2学期以降に行われた。令和2年度の中学校1年生のむし歯は増加しており、小学校6年生から中学校1年生までの1年間で、3.57人に1本のむし歯が新たに発生したことになる。



受検者数	小学校6年生	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
小学校6年生	2,622人	2,523人	2,536人	2,504人	2,463人	2,428人	2,425人	2,245人	2,406人	2,468人	
中学校1年生	1,243人	1,215人	1,345人	1,231人	1,234人	1,218人	1,191人	1,237人	1,245人	1,142人	

4本以上の永久歯のむし歯（未処置・治療済み・抜歯の合計）をもつ 中学校1年生の割合の推移

中学校1年生までに、永久歯が4本以上むし歯になっている生徒が存在する。令和元年度及び2年度は、4本以上のむし歯を持つ生徒が若干増加している。

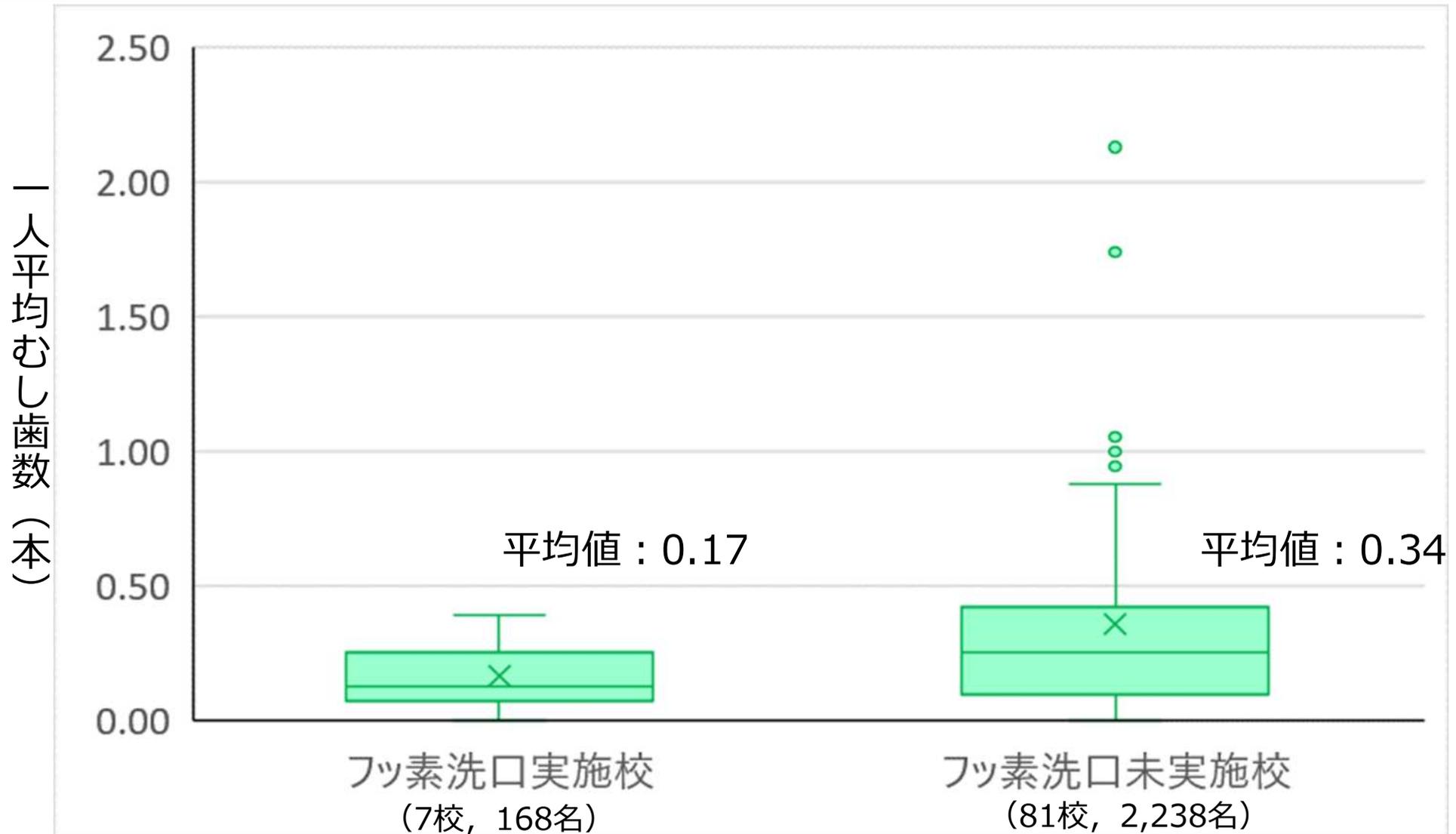


受検者数	1,243人	1,215人	1,345人	1,231人	1,234人	1,218人	1,191人	1,237人	1,245人	1,142人
------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

岡山市学校保健概要調査より健康づくり課にて算出

小学校6年生の永久歯の一人平均むし歯数 (未処置・治療済み・抜歯の合計) の比較

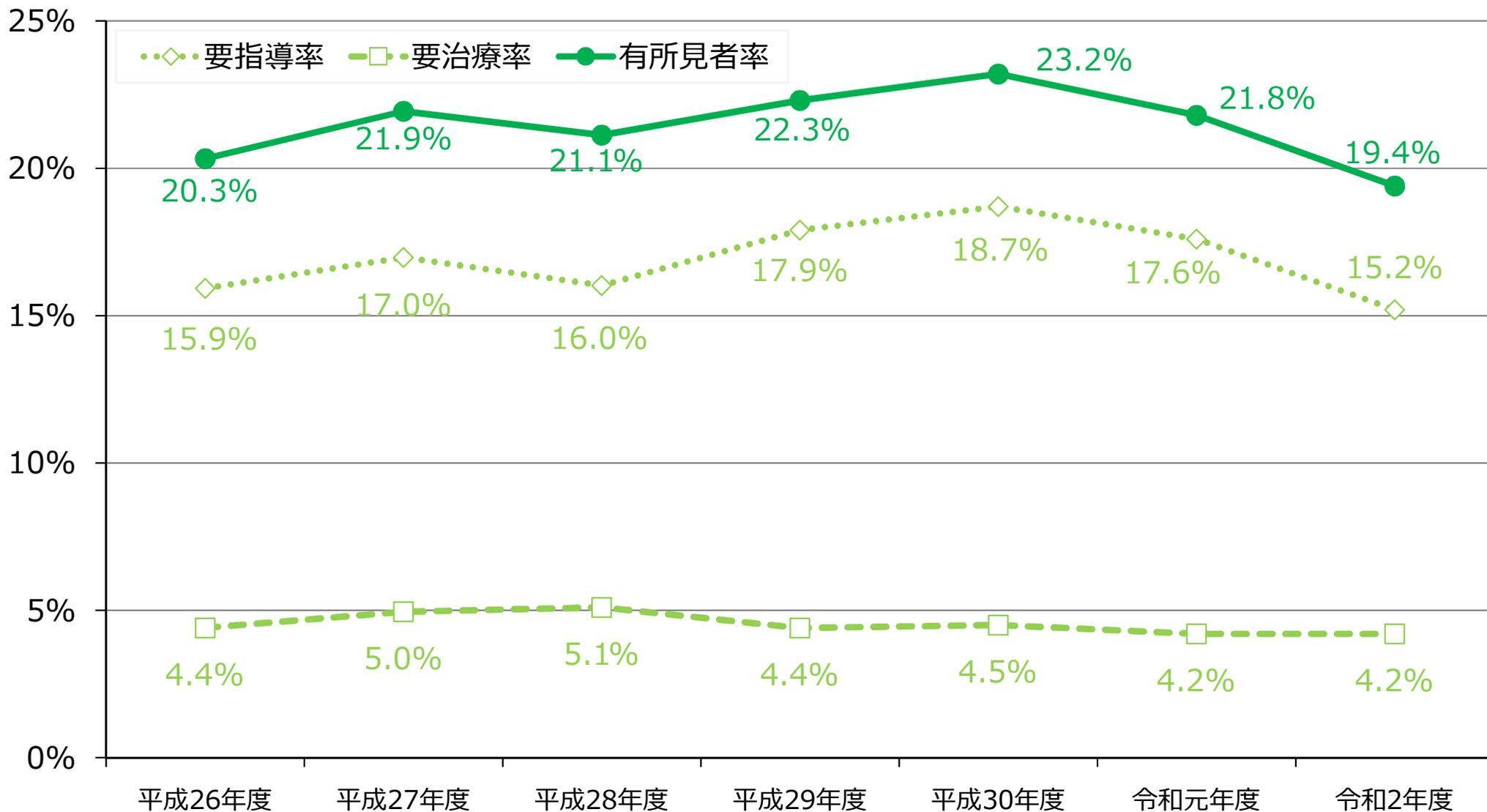
現在、新型コロナウイルス感染症の拡大を懸念し、フッ素洗口を中断している学校が多いため、昨年度のデータを示す。フッ素洗口を実施している小学校6年生のむし歯は少ないが、現在、この恩恵を児童が得られていない。



平成31年度 (令和元年度) 岡山市学校保健概要調査より健康づくり課にて算出

中学生における歯肉に炎症所見を有する割合の推移

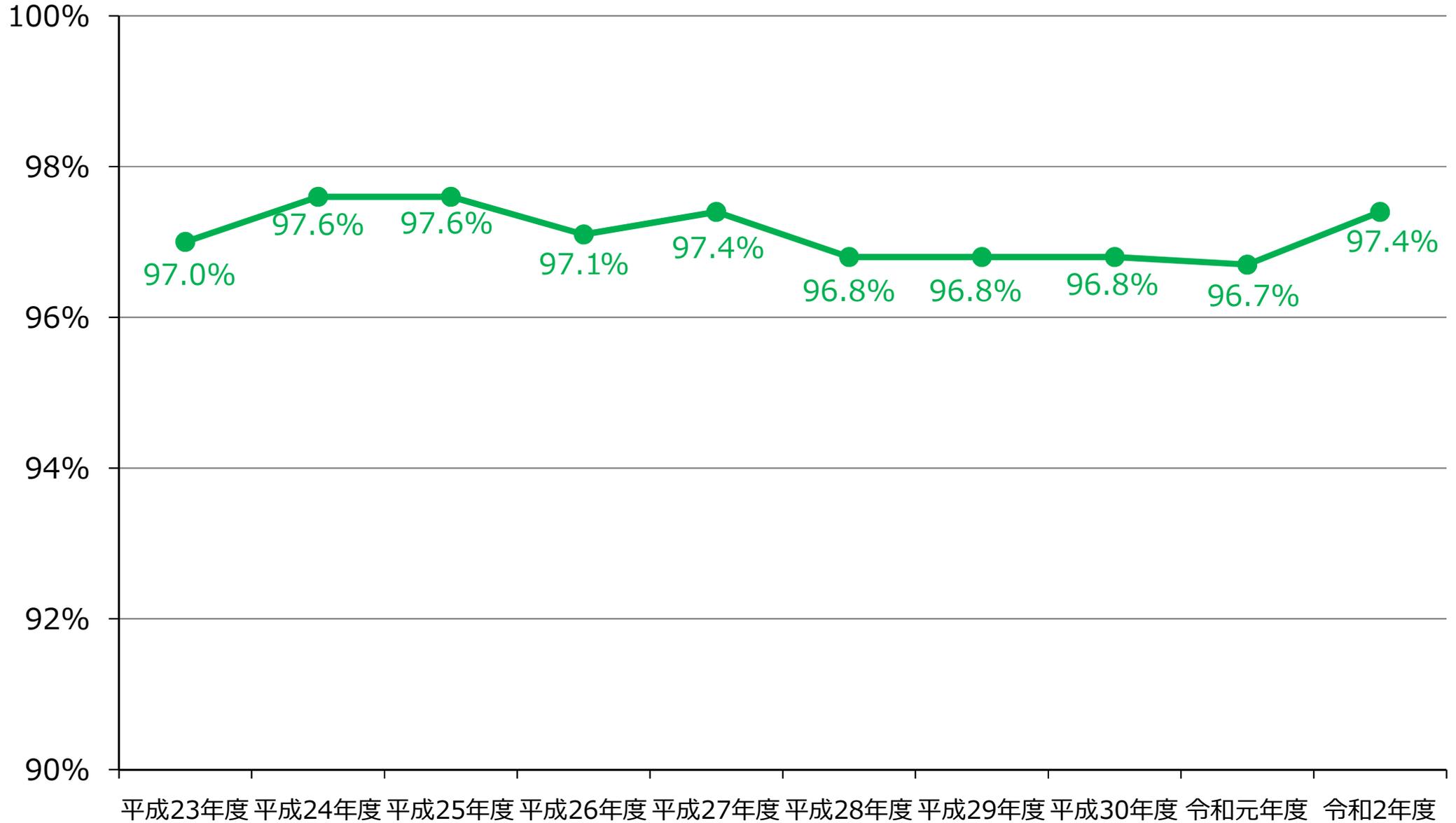
要治療率は、ほぼ横ばい。要指導率は、平成30年度を境にわずかに減少傾向にあるため、有所見者率も減少傾向にある。



	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
受検者数	17,936人	17,824人	17,569人	17,258人	16,869人	16,678人	15,686人

中学生で歯列・咬合・顎関節に異常のない者の割合の推移

歯列・咬合・顎関節に異常のない者の割合は、ほぼ横ばいで大きな変化はない。

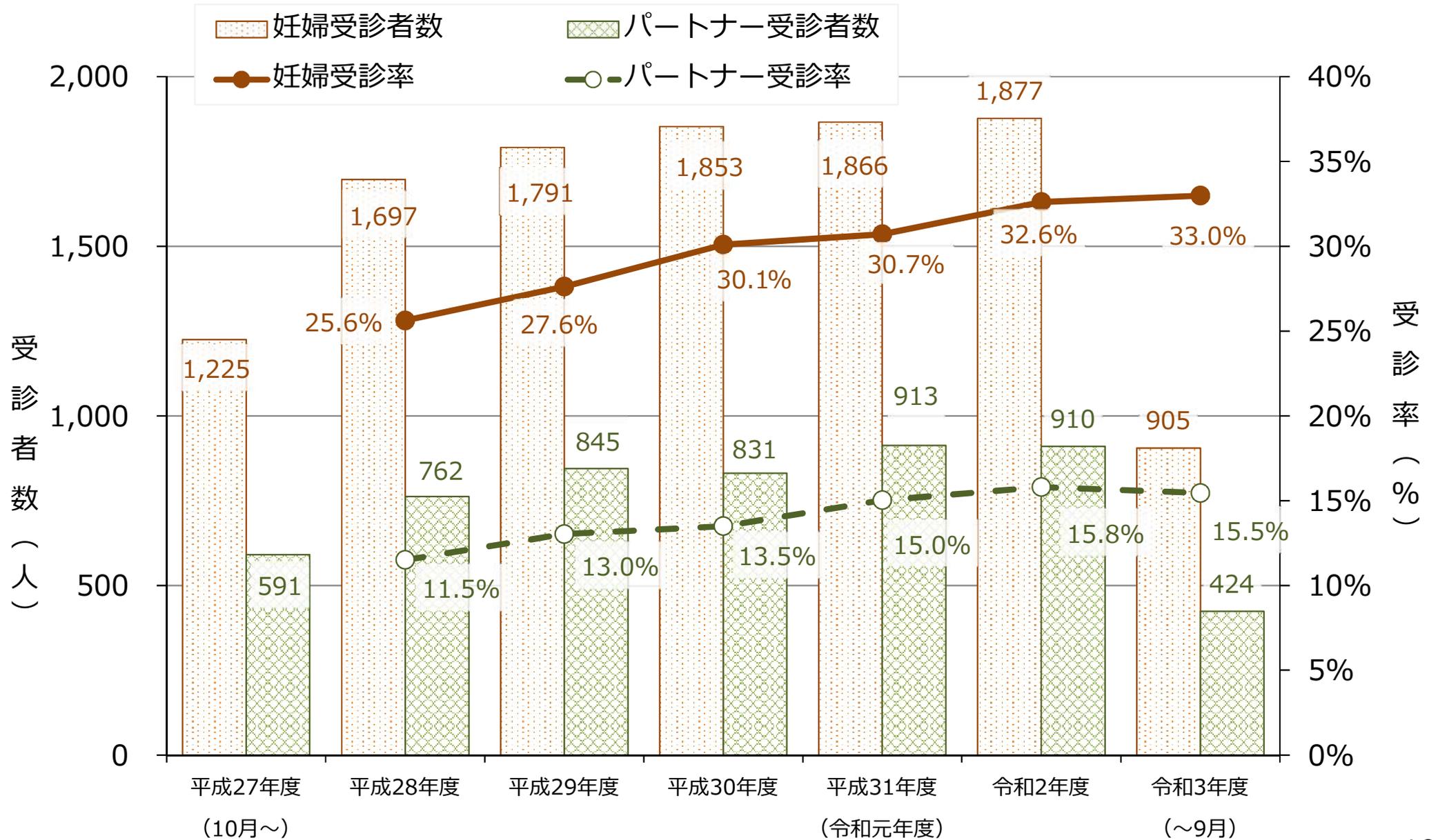


受検者数	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	18,192人	18,188人	17,943人	17,936人	17,824人	17,569人	17,258人	16,869人	16,678人	15,686人

岡山市学校保健概要調査より健康づくり課にて算出

岡山市 妊婦・パートナー歯科健康診査 受診者数の推移

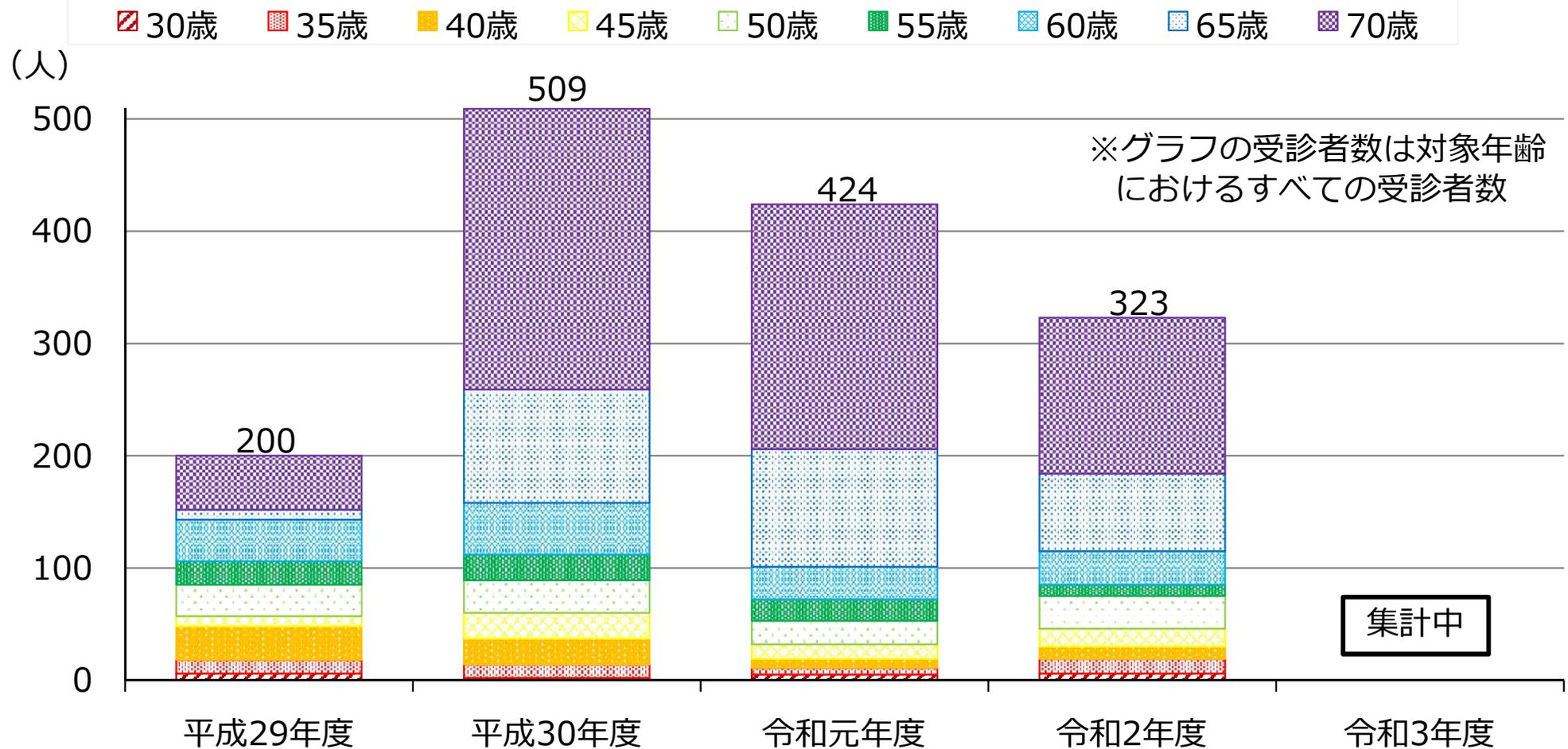
妊婦・パートナー歯科健康診査は、令和3年度は297か所の歯科医療機関で実施している。受診者数の伸びは大きくないが、妊娠届出者数が減少しているため、受診率は、徐々に増加している。



* 受診率(%) = 受診者数 / 妊娠届出者数 * 100

岡山市 歯周病検診 受診者数の推移

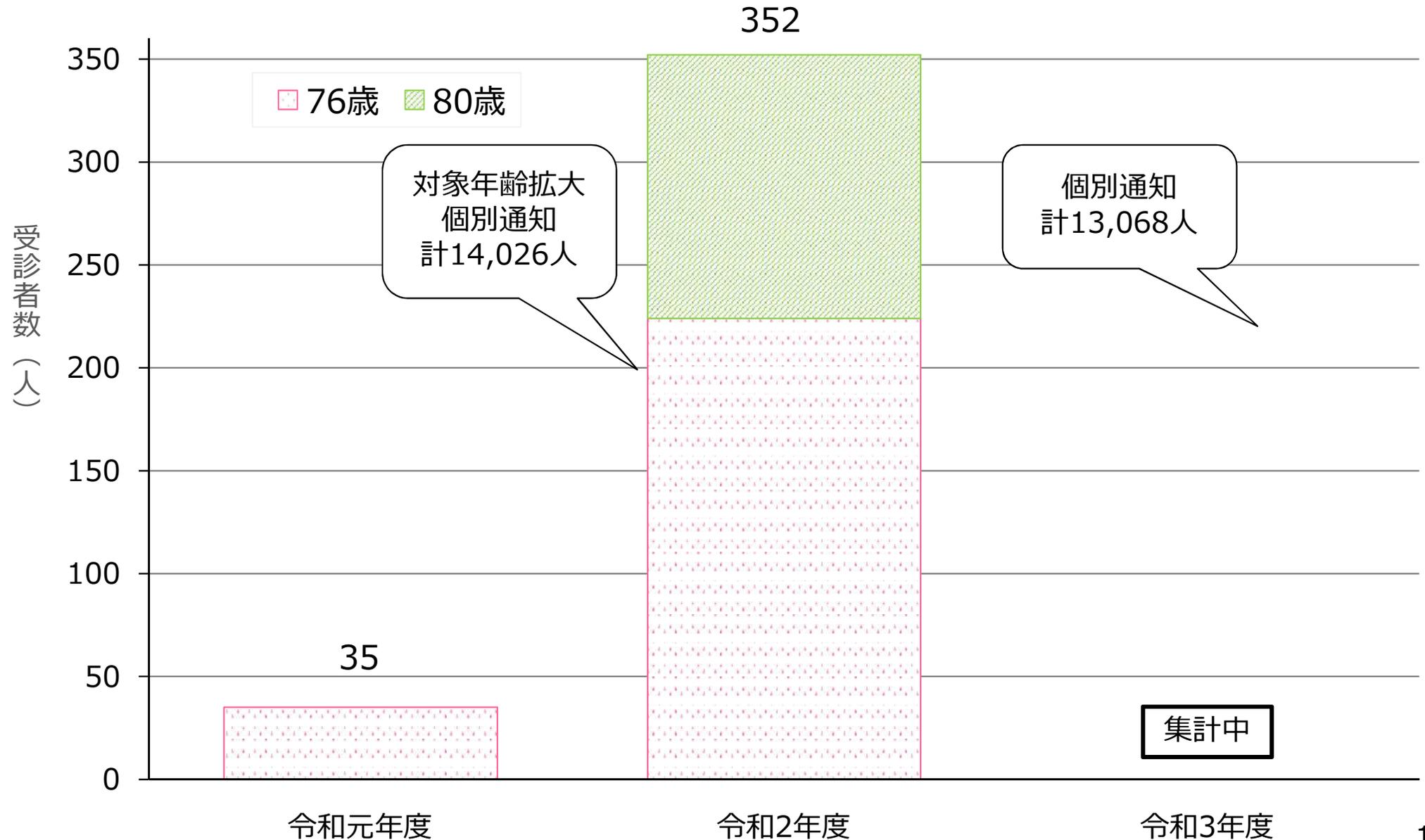
歯周病検診は、令和3年度は296か所の歯科医療機関で実施している。国保年金課より、HbA1cが高い人に無料クーポン券を発送しているが、受診者数は減少しており、特に、50歳までの受診者が少ない。



無料クーポン券配布対象	40・50・60歳	40・45・50・55・60・65・70歳	同左	同左	同左
配布数(人)	239	2,413	2,372	2,016	1,903
うち受診者(人)	29	370	343	234	
受診率(%)	12.1	15.3	14.5	11.6	

岡山市 高齢者歯科口腔健診 受診結果

高齢者歯科口腔健診は、令和3年度は198か所の歯科医療機関で実施している。令和2年度から、76・80歳を対象とし、全員に個別通知を送ったところ、受診者が増えた。



まとめ

対象	現状
幼児	<ul style="list-style-type: none">・ フッ素塗布を受けている幼児の増加により、乳歯のむし歯は減少している。・ 5本以上の乳歯のむし歯を持つ3歳児は減少している。一方で、10本以上のむし歯を持つ3歳児も一定数存在している。
小学生・中学生	<ul style="list-style-type: none">・ 永久歯の一人平均むし歯数に大きな変化はないが、中学校1年生までに、永久歯が4本以上むし歯になっている生徒の割合が若干増加している。・ フッ素洗口実施校の一人平均むし歯数は、フッ素洗口未実施校のそれよりも少ないが、コロナにより中断している学校が多い。・ 歯肉に炎症所見を有する中学生の割合は若干減少傾向にあるが、歯周病の予防対策が十分とはいえない。
成人	<ul style="list-style-type: none">・ HbA1cの高い国民健康保険加入者に歯周病検診のクーポン券を発送しているが、受診者数は減少しており、特に、50歳までの受診者が少ない。・ 妊婦・パートナー歯科健診の受診率は増加傾向にあるが、パートナーの受診率は妊婦の2分の1程度と低い。・ 成人の歯科検診の受診率は低く、口腔内の状況が十分に把握できていない。
高齢者	<ul style="list-style-type: none">・ 令和2年度から、76・80歳を対象に高齢者歯科口腔健診の個別通知を全員に送付し、受診者が増加したが、受診率はまだまだ低い状況にある。